

教科名	家庭	科目名	保育基礎 (2単位)	選択相手科目	生涯スポーツ 論理・表現 I
使用教科書	保育基礎 (教育図書)		副教材	保育基礎ワークノート (教育図書)	

1 科目のねらい (目標)

保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴などについて体系的・系統的に理解・技術を身に付け、子どもの健やかな発達を目指し自ら学び、保育に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。また、子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う

2 科目・授業の内容と進め方

- 1 乳幼児の発育・発達について理解し、子どもの生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて実践的・体験的に基礎知識や技術を身に付けることができます。
- 2 保育人形を用いた実習や手作り玩具製作をとおして具体的・実践的に乳幼児の発達や生活について学ぶことができます。
- 3 この学習を通して乳幼児への愛着が育ち、命の大切さ、どのようにしたらいきいき成長できるかについても考えることができるようになります。
- 4 将来、親となったときの育児に対する意欲が育ちます。

3 学習の方法

座学だけでなく実習が多い科目であり、特に主体的・積極的な学習態度で取り組むことが大切です。また、ワークプリントや実習作品の成果、提出期限、実習に取り組む態度や製作過程なども大切な学習課題です。

4 課題・補習について

- ・学習ノートやプリント、演習課題の点検を行います。
- ・実習については、作品の成果だけでなく、実習中の態度も大切です。

5 観点別学習状況の評価ポイント

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの保育、発達、生活と養護、福祉、文化における内容やそれについての背景を理解している。 ・実習においては職業人や保育者として必要な技術を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、保育に必要な主体的かつ協動的な取り組む態度とは何かを考え、とるべき行動に思いを巡らせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関して興味関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 ・実習において、事前準備から片付けまで周囲と協力しながら取り組んでいる。 ・单元ごとの振り返りができている。

ビジネス情報科・ビジネス科 3年A・B・C・D組選択者

教科名	家庭	科目名	保育基礎（2単位）
-----	----	-----	-----------

6 年間の学習計画

月	単元名	学習内容	評価方法 (課題等)
4	第1章 子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義やその方法、保育の環境について理解する。 ・保育者の重要性に気付く。 ・家庭保育と集団保育の役割について理解し、新聞などを用い、家庭保育の現状と課題について考えることができる。 	授業態度 学習ノート 実技演習点 提出物 前期中間考査
5	1 保育の意義		
6	2 保育の環境		
7	3 保育の方法		
8	第2章 子どもの発達		
9	1 子どもの発達の特徴		
10	2 乳幼児の発育と発達		
11	第3章 子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活と食事・衣生活と健康について理解できる。 ・幼児のおやつと工夫点を考えることができる。 ・子どもの遊びと成長のつながりを理解できる。 ・保育者が子どもを取り巻く状況をどのように理解することが大切なのか考えることができる。 	授業態度 実技演習点 提出物
12	1 子どもの健康と生活		
1	2 子どもの食事		
2	3 子どもの衣服と寝具		
3	4 子どもの健康と安全		
4	第4章 子どもの福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉の理念や法律について理解できる。 ・家庭の力とともに社会的な支援が必要とされている背景を考えることができる。 	
5	1 保育にみる児童観		
6	2 児童福祉の理念と法規・制度	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻くすべてものが、文化として子どもの心身を育ていくことを理解する。 ・遊びが子どもの生活にとってもっとも重要であることを理解する。 	学年末考査
7	第5章 子どもの文化		
8	1 子どもの文化の意義		
9	2 子どもの文化を支える場		
10	3 子どもの遊び		
11	4 子どもの表現活動		
12	学習のまとめと評価		